



第39回JA福島大会 次期3力年で目指すもの

基本方針

- ① 新生4JAの合併事業計画の着実な実践
- ② 中央会・連合会の徹底した支援



片寄文明経済部長

JAグループ福島は11月19日、第39回JA福島大会を福島市のパルセイイさかで開きました。「新生JAの機能発揮による震災復興と未来につなぐ協同の実践」に向けた取組みと、その実現を目指した次期3力年の取組み方針を決議しました。片寄文明経済部長が福祉事業について実践報告しました。

【基本理念】

1 消費者と共生する「安全・安心なふくしま農業」の復興と農業所得の増大

《重点課題・目標》

- ① 被災者の営農再開と県産農畜産物のブランド回復
 - ・ 県産米の県内消費率 60%台→80%台への回復（新たな米戦略展 開）
- ② 集落営農や新規就農者など本県農業の担い手の確保
 - ・ 新規就農者（平成30年まで年間）200名（県の新生プランと同じ 目標）
 - ・ 農業生産法人の育成（平成30年まで）60法人（集落営農法人含む。）
- ③ 農業所得10%アップの取組み